



グリーン交悠録



忘れえぬホールインワンの思い出 角栄氏をはじめ 歴代の総理とのラウンド



写真提供：軽井沢72ゴルフ

元自治大臣 石井 一 氏

本誌主幹 大中 吉一

大中 前回お聞きしようと思ったのですが、たしかホールインワンはご経験があまりですよ。

石井 おありどころじゃありません、田中角栄先生とご一緒の時にやりました。

大中 田中角栄さんですか。

石井 田中角栄先生は40代で初めてクラブを握られました。いわゆるアベレჯ・ゴルフファーですね。ロッキード事件以後首相を辞任され、多くの時間をゴルフに割けるようになられたのです。この頃に田中生とは頻りにゴルフをご一緒させていただきました。

大中 その時にホールインワンをされたのですよね。

石井 1980年の夏でした。軽井沢72ゴルフの西ブルーコース、インの14番ホールでした。158ヤードを5番アイアンでのショットでした。打ち上げの砲台グリーンでピンの根元が見えなかったのですが、グリーンで確認したところ私のボールがホールに取まっていたのです。

大中 そこで万福を撒かれた…

石井 田中先生はいきなり「君、金を持っているか」と聞かれ、20万

30万ぐらいなら、とお答えすると、カバンから分厚い封筒を出されて、手渡されました。

大中 ご祝儀ですね。

石井 ええ、そこから会う人ごとにホールインワンが出たと1万円ずつ配るのです。ゴルフ場やホテルの従業員、キッチンの中の料理人さんにも配るようにおっしゃるのです。おそらく100人以上だったと思います。

大中 田中さんがホールインワンをされたような勢いですね。

石井 事実、そう勘違いされた人もいたようです。

大中 田中角栄氏ご自身はホールインワンのご経験はあるのでしょうか。

石井 私の知る限りなかったと思います。

大中 前回安倍晋太郎さんのお話が出ましたが、歴代の総理や要人のラウンドも多かったようですね。

石井 はい、内外を問わず政治の世界にいらっしゃる方にはゴルフがお好きな方が多いですから。

大中 どんな方とラウンドされましたか。

石井 ロッキード事件といういわば無実の罪と「金権」批判で首相を辞任された田中角栄先生は、それ以降も執念を持って政界に関与し、多くの総理に影響を与えました。

大中 「閻將軍」「キングメーカー」などと呼ばれましたね。

石井 はい、田中先生がロッキード事件に遭われた時は、ライバルとも言える福田起夫内閣でしたが、1978年の自民党総裁選挙では日中国交回復を外務大臣として共に成し遂げた盟友である大平正芳先生を推し、最終的に大平内閣を作りました。

大中 福田起夫さんが「天の声もたまには変な声がある」という有名なセリフを残された時ですね。

石井 当時は「角影内閣」などと呼ばれました。

大中 大平総理とはラウンドされたのですか。

石井 ええ、大平総理のゴルフも前回お話した安倍晋太郎先生同様、独特のスタイルでした。

大中 ほう、どんな具合でしたか。

石井 特にドライバーを打たれる時だったのですが、テイクバックの

- 時にクラブにつられるように「回れ右」をして90度さらにもう90度ちかく、ほぼ180度回転していったん天を仰ぎ、ひと呼吸してからクラブを振り下ろすのです。
- 大中 それでは目がボールから離れてしまいます。
- 石井 なぜかそれでも器用にボールを捕らえるのです。
- 大中 真似のできないスイングですね。
- 石井 それでも大平総理のスコアはいつも100を切る腕前でした。
- 大中 大平総理はハプニング解散の時に急逝されましたよね。
- 石井 田中先生は親友の死をとても悲しまれ、「壮烈な戦死」と嘆かれました。
- 大中 1980年の衆参同日選挙の時でしたね。
- 石井 それで同じ田中派の鈴木善幸内閣が誕生しました。
- 大中 たしかマスコミも意外だと行って大騒ぎになりましたね。
- 石井 当時の田中角栄先生の党内における実権は絶大で、大平総理の後継として同じ宏池会の鈴木善幸内閣が誕生したことには自民党内に全く異論はありませんでした。
- 大中 鈴木総理もゴルフはされたのですよね。
- 石井 あまりお上手なほうではありませんでした。ゴルフが大好きでした。
- 大中 どちらのコースに行かれたのですか。
- 石井 週末になると千葉の「習志野カントリークラブ」に頻繁に足を運ばれました。
- 大中 たしか「キング」と「クイーン」の2つのコースがありますね。
- 石井 距離が長くタフで男性的な印象の「キング」、距離は短いです。池に沿って曲がりくねって女性的な印象の「クイーン」ですね。
- 大中 鈴木総理はどちらでしたか。
- 石井 「クイーン」一辺倒でした。
- 大中 「一緒にラウンドされたことは。」
- 石井 田中角栄先生とは違い、鈴木総理は秘書官やごく内輪の方たちと静かにラウンドされる方でした。
- 大中 なるほど。
- 石井 当時は私も「習志野」のメンバーでしたので、プレーの最中に行き合ったり、クラブハウスで歓談させたいたりしました。
- 大中 物静かな方でしたね。
- 石井 ご自身の性格同様の、コッコツと控えめなゴルフをされているの。しばしば拝見いたしました。
- 大中 レーガン大統領との日米首脳会談には同行されましたね。
- 石井 1981年の5月でしたね。
- ワシントンDCでの首脳会談に先立ってニューヨークに入った際に、レーガン大統領から素敵なプレゼン트가あつたのです。
- 大中 ニューヨークですか。
- 石井 多忙で鈴木総理と一緒にゴルフをする時間がどうしても作れないからとハドソン川からニューヨーク湾を一周するクルージングにご招待いただきました。
- 大中 船ですか。
- 石井 ところがその船に、サブライズゲストとしてレーガン大統領の依頼で、あの世界的なプロゴルファー、ジャック・ニクラス氏が乗船していたのです。
- 大中 トレードマークの金髪のせいで「ゴールデンベア」と称され、日本では「帝王」とも呼ばれていましたね。
- 石井 しかも、なんと船上で鈴木善幸首相へのゴルフレッスンが始まったのです。
- 大中 それはすごい。
- 石井 グリップやスウィングのフォームなど実に丁寧で細やかな指導でした。
- 大中 ご自身もレッスンをお受けになったのですか。
- 石井 グリップを見ていただきましたが、「パーフェクトです。相当良いゴルフをするのでしようね」と言っていたかったです。嬉しかったです。
- 大中 現行の総理はいかがですか。
- 石井 ご一緒させていただいたことはありませんが、安倍晋三総理は、お父上の控えめな打法と異なり、体の回転の良いフルスウィングのゴルフをされるように見受けられます。
- 大中 力強いですね。
- 石井 あのショットならボールもかなり飛ぶでしょうね。総理就任以降、政治の世界でもフルスウィングを連発し、「安倍一強」といった感無きにもあらずですが、脇を締め、謙虚な国会運営を心がけるのも大切だと思います。
- 大中 ありがとうございました。